

青私幼通信

030-0861 青森市長島二丁目 10-4 ヤマウビル 8 階

HP <http://www.aoshiyo.jp>

メール aoshiyo@beach.ocn.ne.jp

令和 7 年 3 月 3 1 日

—第 240 号—



一般社団法人青森県私立幼稚園連合会



【1】第 2 回臨時理事会の報告

【2】第 2 回理事会の報告

【3】第 2 回定時総会 3/21

【4】全日私幼連・（一財）研究機構からのお知らせ（抜粋）

【5】諸会議の記録

【6】弔事



[1] 第2回臨時理事会の報告

日 時 令和7年1月17日（金）

会 場 Z o o mによるオンライン

案 件

次 第

1. 定足数の確認
2. 挨拶
3. 案件
 - (1) 令和8年度東北地区教員研修大会八戸大会について
 - (2) その他
 - ①令和7年度青森県私立幼稚園教員研修大会（青森大会）
 - ②令和6年度全日本私立幼稚園連合会特別会費の取り扱いについて
 - ③令和7年度協賛依頼について

[2] 第2回理事会の報告

日 時 令和7年3月11日（火）

会 場 Z o o mによるオンライン

案 件

次 第

1. 定足数の確認
2. 挨拶
3. 案件
 - (1) 令和6年度会務事業報告並びに決算見込みについて
 - ①令和6年度会務事業報告
 - ②令和6年度決算見込み（案）
 - (2) 令和7年度事業計画並びに予算案について
 - ①令和7年度事業計画案
 - ②令和7年度運営方針案
 - ③令和7年度会費案
 - ④令和7年度予算案
 - (3) 令和6年度第2回定時総会について
 - (4) 令和8年度第40回東北地区教員研修大会（八戸大会）について
 - (5) 令和7年度広告協賛依頼について
 - (6) その他

[3] 令和6年度一般社団法人青森県私立幼稚園連合会第2回定時総会の報告

日 時 令和7年3月21日（金）

会 場 ホテル青森・Z o o mによるオンライン

次 第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事録署名人選任
5. 議事
 - (1) 令和7年度事業計画案について
 - ①令和7年度事業計画案
 - ②令和7年度運営方針案
 - (2) 令和7年度予算案について
 - ①令和7年度会費案
 - ②令和7年度予算案
 - (3) 令和8年度第40回東北地区私立幼稚園教員研修大会（八戸大会）について
 - (4) その他
6. その他
7. 閉会のことば

吉田恵美総務委員の司会進行により資料と定足数の確認後、平田浩介副会長の開会のことばで始められた。

山西会長から、静かな有事とも言われる少子化は社会全体に大きな影響を及ぼしていますが、幼児教育に携わる私たちがその荒波を一番初めに被っているのだと思います。質の高い教育を考えると、そこには安定した経営が必要となります。令和7年度は、経営と教育、この両輪にしっかりと取り組んでいかなければならないと考えております。

少子化は止まる気配もなく、今日の前にいる子どもたち一人一人が青森県をそして日本を背負っていく人材にならなければなりません。そのような人材を育てることを課せられている私たちには大きな責任があるのだと思います。

毎年、皆さまからアンケートを通して、貴重な情報やご意見、更には悲痛な声を頂戴しています。これまでも国や県などに訴えてきましたが、令和7年度は国や県に加えて地域に対しても幼児教育への理解を深めていただきたいと強く感じております。

先だって、日頃お付き合いのある業者の方が本園の行事に参加した際に、園児の両親が揃って参加する様子を見て、後日会社で、子育てをしている家族を応援する体制を会社も作らなければならない、子育てをしっかりと家庭生活を充実させ安定した気持ちで仕事に励む、ということを話し合ったと言っていたと、大変心強く思いました。小さな出来事ではありましたが、幼児教育の重要性、子育ての大切さ、子どもがいることの価値を地域に浸透させたいと、これも連合会が取り組むべきことと感じた次第です。それぞれの幼稚園がそれぞれの地域との連携を深めていただきたい、との挨拶があった。

続いて議長に認定こども園ひばり幼稚園園長 石山いつ子先生が選出され議事に入った。議事案件については滞りなく承認され、平田副会長の閉会のことばで総会を閉じた。

(別紙議事録参照)

[4] 全日私幼連・（一財）研究機構からのお知らせ（抜粋）

全日私幼連並びに（一財）研究機構から、国からの発令文書等、12月25日以降にお届けしたものです。

（以下、各園へのメール送信の日付）

令和7年1月6日

【全日私幼連からのお知らせ】 241227令和7年度幼稚園関係予算案の概要①について

- ・①241227令和7年度予算案について
- ・②241227令和7年度予算案について（幼児教育課）
- ・③241227令和7年度予算案について（私学助成課）
- ・④241227令和7年度予算案について（特別支援教育課）
- ・⑤241227令和7年度予算案について（こ家庁／概要）
- ・⑥241227令和7年度予算案について（こ家庁／参考資料）

令和7年1月7日

【全日私幼連からのお知らせ】 250106【事務連絡】 令和6年人事院勧告に伴う国家公務員給与改定を踏まえた令和6年度補正予算における公定価格の取扱いについて

- ・250106【事務連絡】 令和6年人事院勧告に伴う国家公務員給与改定を踏まえた令和6年度補正予算における公定価格の取扱いについて

令和7年1月20日

【全日私幼連からのお知らせ】 240117【公布通知】 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の公布について

- ・40117【公布通知】 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の公布について（通知）
- ・240117【別紙】 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準（令和7年内閣府令第1号）

令和7年1月27日

【全日私幼連からのお知らせ】 250124令和7年度幼稚園関係予算案の概要②について

- ・250124私立高等学校等の経常費助成に係る財源計画について

令和7年2月6日

【全日私幼連からのお知らせ】 250205【事務連絡】 幼稚園教諭・保育士・保育教諭の職の魅力向上・入職促進について（協力依頼）

- ・250205【事務連絡】 幼稚園教諭・保育士・保育教諭の職の魅力向上・入職促進について（協力依頼）
- ・250205【別添1】 幼稚園教諭・保育士等の職の理解・魅力向上・入職促進に関する今後の取組（案）
- ・250205【別添2①】 団体における保育・幼稚園教諭の人材確保の取組一覧
- ・250205【別添2②】 団体における保育・幼稚園教諭の人材確保の取組一覧

令和7年3月5日

【全日私幼連からのお知らせ】 250304令和7年度施行 育児・介護休業法改正の動画配信について

- ・250304育児・介護休業法改正研修動画（加盟園宛）

令和7年3月28日

【全日私幼連からのお知らせ】250327学校法人会計基準の一部改正に伴う計算書類の作成について等の公布に伴う雇用仲介事業利用にあたって

・250327【通知】学校法人会計基準の一部改正に伴う計算書類の作成等について（通知）

令和7年3月31日

【全日私幼連からのお知らせ】250331こども誰でも通園制度実施に当たっての手引について

・250331_①こども誰でも通園制度の実施に関する手引

・250331_②利用者向けリーフレット

・250331_③事業者向けリーフレット

[6] 諸会議の記録

- 1月17日（金） 青私幼第2回臨時理事会（山西・木村・平田・岡本・田頭・敦賀・沼尾・棟方・成田・佐藤・吉田・和田・湯沢・工藤・澤田・秋元・油川・高木・齊藤・長尾・小澤） 於：Z o o mによるオンライン
- 3月11日（火） 青私幼第2回理事会（山西・木村・平田・田頭・敦賀・沼尾・棟方・佐藤・吉田・和田・湯沢・工藤・澤田・秋元・加藤・油川・高木・齊藤・長尾・小澤） 於：Z o o mによるオンライン
- 1月31日（金） 第3回青森県保育・幼児教育5団体協議会（山西・木村・平田）
於：青森市・県民福祉プラザ
- 2月14日（金） 令和6年度全日私幼連東北地区団体長会議（山西）
於：山形市・山形県私学会館
- 2月14日（金） 令和6年度全日私幼連第2回東北地区会（山西・木村・平田・棟方・事務局）
於：山形市・山形県私学会館
- 2月14日（金） 令和6年度全日私幼連東北地区事務局長会議（事務局）
於：山形市・山形県私学会館

[7] 弔事

認定こども園青森中央短期大学附属第一幼稚園前園長 坪谷 輝子 先生

令和7年1月6日ご逝去

幼保連携型認定こども園星美幼稚園学園長・前理事長 内田 則 先生

令和7年1月30日ご逝去

令和6年度 一般社団法人青森県私立幼稚園連合会第2回定時総会議事録

日 時 令和7年3月21日(金)

14:30～15:30

場 所 ホテル青森 3階孔雀の間

司会 吉田恵美総務委員

(加盟園数89出席園数48、委任状27で総会成立)

1. 開会のことば

副会長 平田 浩介

2. 会長あいさつ

会 長 山西 幸子

3. 議長選出

石山いつ子 先生 (認定こども園ひばり幼稚園園長)

4. 議事録署名人選出

鈴木 智子 先生 (青森明の星短期大学付属明の星幼稚園園長)

川守田道治 先生 (認定こども園あかね園園長)

5. 議事

都合により、(2) 令和7年度予算案について、を先に説明することとした。

①令和7年度会費案について、木村総務委員長から前年度と同じでありこれにより会費収入を見込むことになるとの説明があった。引き続き②令和7年度予算案について、収入の部で園児の減を見込み、金額も少し減らしている。繰越金も決算見込みに従って減額しているので支出も減らす形でバランスを取ろうと思う。それでもバランスを取り切れないので収入の部で運営引当金取崩収入を160万にしたいとの説明があった。

さらに、園数、園児数減少の中、連合会の収支は非常に厳しいものがあり運営引当金160万円を取り崩さないで持たないのが現状である。運営引当金も近い将来行き詰まってしまうので、大変申し上げにくいことではあるが、会費の増額を今検討中である。園数や園児数の推移を見極めながら最終的に総会でご審議をいただくということとなる。園の次年度予算に影響するので5月の決算総会か、または臨時でやるかということを考えている。

また、安易に会費の値上げを考えているわけではなく、今後も協賛金についてはまだ開拓の余地があるので各園にもご協力をお願いしたいと、審議事項に続き会費の検討状況について報告があった。

山西会長から補足説明として、令和8年度について会費をいじらなければならないのではないかなという方向性で動いている。やはり収入を増やすことと支出を減らすことと両方が必要だと思う。支出については会議をリモートにするなど切り詰めてくださっているが、限度があると思う。収入の面に関しては、是非協賛金、業者さんをお願いしてなんとかご協力をお願いしたいとのお話があって令和7年度の会費、予算について審議され、承認された。

続いて木村総務委員長は所用により退席し、(1) 令和7年度事業計画について吉田総務委員から説明があった。

各委員会について

・総務委員会（吉田総務委員） 例年通り滞りなく進めていくとの説明があった。

・教研委員長（岡本教研委員長） 乳幼児保育を5月17日に実施し、0、1、2歳児のころのことを上垣内先生にお話ししていただく。また、8月8日の教員研修大会、新規採用教員研修を7月28日、キャリアアップ研修会を11月に八戸市で予定している。学校評価100%に向けて徹底していきたい。またECEQ®実施への支援もして、是非体験していただき評価にもつながるのでご検討いただきたい。最後に地区会研究活動の支援もしてまいりたいと思っていると、説明があった。

・振興・経営委員会（平田振興・経営委員長） 例年通りであるが、私立幼稚園補助金の増額運動と方針の検討について、議員の先生方と幼児教育の現状についての話し合いをし補助金の増額につなげていきたい。また、知事の「あおばな」にも積極的に参加して現状を訴えていきたい。第48回・49回設置者・園長研修会につきましても48回は全日私幼連の尾上会長と石田政策委員長にきていただいてこれからの経営、振興をどうしていけばいいかということについて皆さんと考えていきたい。第49回については9月から11月を考えているので、決まったらご報告したいとの説明があった。

・認定こども園委員会（田頭認定こども園委員長） 3年にわたって続けてきた園の経営実態調査を引き続き行い、皆様がお困りのこと、政策に反映していただきたいことなどを吸い上げ、振興・経営委員会とコラボレートしながら進めていきたい。昨年度、初めて振興・経営委員会と共に次世代の研修を行ったので、若い世代の育成をしていって持続可能な連合会を構築していく方策を考えていきたい。若手にもそれぞれの立場で幼稚園経営を学ぶ機会をもちたい。皆様と将来を見据えた園経営について忌憚なく話し合える機会を大事にしながら委員会を運営していきたいので、ご協力をお願いしたいと、それぞれの委員会から説明があり、承認された。

続いて令和7年度運営方針について山西会長が読み上げ、方針の中ほどに大きな変更があった旨説明があり、これも承認された。

（3）令和8年度第40回東北地区私立幼稚園教員研修大会八戸大会について、岡本教研委員長から資料に沿って説明があり、東北地区教研大会は青森県は3ヶ所で回っており、令和8年度は八戸で開催させていただきたい。後援はまだ出していないが青森県・青森県教育委員会・八戸市・八戸市教育委員会に加えてこれまで入れていなかったが観光協会VISIT八戸にも後援をしていただきたいたいと考えている。日程は令和8年度は国民スポーツ大会が青森県で開催されるので、早めにとということで9月4日5日とした。

内容については、少子化に伴い幼稚園の規模が小さくなっていることを踏まえて、東北大会に関しては少子時代をどう克服していくのかというあたりをもっと社会と一緒に考えているいい機会にならないのかということを考え、街の中で、幼稚園を街に持って行けばどうだろうと考えてこの企画をした。参加者が各園に散るのではなく、いろんな人が普通に通り過ぎる中であえてやることによって、幼稚園が持つ力や幼児教育に対する私たちの思い、あそびが重要であるということの意義を、強く示してみたいと考えた内容が次の内容になっている。

開会式は最初にやり、記念講演はすべての学問は保育に通ずるということで、一人の先生から話を聞くのではなく分科会にお出でいただく方全員にいろんなことをいろいろな角度からお話してもらえればいいのかと思っている。

懇親会も街中に散って、乾杯の時に「こどもがまんなか」とか「こどものちから」とかで乾杯をしているところがあちこちから声が聞こえるということをすることによって自分事として幼稚園や幼児教育や、こどもがいることの豊かさを伝えられるのではないかと。点々といろんなところで乾杯の音が

聞こえるということをしてみたいと思っていて、VISIT八戸が入る理由もそこにはあるのだが、街中の
人にも協力して参加していただいて、幼稚園ということ幼児教育という **こと**を感じていただきたい。

2日目は極力街中を利用した公開保育と分科会をしたい。

八戸をまるごと使って、先ほど申し上げた上垣内先生もイタリアでいろんな研究をなさっていて、イ
タリアの街というのは大人からの子ども達への贈り物だと、大人が作り上げた街というものが子ども
達にとっては贈り物だという、そういうことを具現化できる場所が街にはあるのではないか。幼稚園
も街のなかのひとつの素材としてある、そういうことも伝えていけるものが街の力として発揮したい
なと思って、東北地区会で一応承認はされているので、青森県の先生方に関しましても是非ご協力い
ただければ大変うれしいと思って提案させていただいた、と報告され山西会長からも、東北地区会で
承認されていることの報告であり、各地区のご協力をお願いしたい。なにかいい案や情報があれば是非
お寄せいただきたいとの協力の呼びかけがあった。

以上、(4) その他については特になく、議事を終了した。

6. その他、事務連絡として、こどもがまんなかしんぶんの申込のお願いがあり、すべて終了した。

7. 閉会のことば

副会長 平田 浩介

議長

石山 いづ子



議事録署名人

鈴木 智子



議事録署名人

川守田 道治

